



最上町魅力発信の Instagram を見ることができます!

地域おこし協力隊通信

最上町の食の魅力を伝える講和を行いました!



こんにちは! 今月号は菅大智がお伝えします!

カンカン照りの太陽が私達を小麦色に染める今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか?

最上町の農作物といえばお米やアスパラガス。果物ならサクランボやブルーベリー、シャインマスカット。これらは、ふるさと納税の返礼品として、最上町から多くの農家さんが全国に出荷していらっしやいます。

取材させていただいた際に試食させてもらって、どれも甘味やみずみずしさがあり美味でした。農家さんの知識と経験に基づいて作られた絶品フルーツと夏野菜。こちらは私のInstagramで見ることもできますのでぜひチェックしてみてください。

また、先日約30名の町外高校



『最上町の食の魅力』について、多くの方に伝わっていれば幸いです。

集 落 支 援 員 だ よ り

新庄北高十新庄南高 新高校

最上地区全体の中学生の減少により、新庄市にある県立新庄北高、新庄南高、新庄神室産業高の枠組みが、令和6年度より大きく変わります。県教育委員会の説明により、現在、新庄南高に開設されている商業系の総合ビジネス科は令和6年度より、新庄神室産業高に移ります。(同科の現一、二年生は新庄南高で卒業まで在籍します)

次に、現在の新庄北高と新庄南高は令和7年度末に統合され、令和8年度からは、新高校として名称も新たに、全日制は普通科3学級、探究科2学級の高校として出発することになります。また、新庄北高は令和6年度に一学級減の4クラスでの募集となります。新庄南高の普通科2クラス募集は変わりません。

夜間定時制は 昼間定時制に

現在新庄北高には夜間定時制が設置されています。定時制ですので、一日当たりの授業時数が少ないことから4年間の卒業を目指しています。この夜間定時制が、令和9年度からは昼間定時制に移行することになります。

今後の 新庄北高最上校は?

最上地区には新庄北高最上校のようにキャンパス制をとっている高校が、新庄南高金山校、新庄神室産業高真室川校と3つあり、いずれも小規模ながら地域と密接な関係のもとに特色ある教育活動を行っています。



JRを使って新庄市内の高校に通学する高校生

使用される 校舎などは?

新高校全日制は、現在の新庄北高を改修して使用するとされています。一方、定時制は令和9年度から、現在の新庄南高の校舎を使用することになります。全日制の制服は現在の両校デザインとは異なる新たな制服・運動着になります。部活動は原則募集を継続して、新高校開校後も継続できるように検討しています。

最上校の 魅力化の推進

最上校の存続を見据え、令和2年度より県教育委員会の支援を受け、最上校の魅力化に向けた連携会議を発足し、入学者の増加を図るための諸事業に取り組みしてきました。その取り組みの一つが最上校の魅力を紹介する動画の制作です。

もう一つは最上校の県外募集の開始です。最上町の豊かな自然と歴史や文化に「ふれ三年間最上町で暮らす」「最上町みらい留学生」制度を創設しました。



最上校名物・運動会での親子競技

川遊びって楽しいね! 赤倉温泉地域の魅力発信!



富沢地区 遊佐 忠孝 支援員

赤倉温泉振興対策協議会のイベント部門として立ち上がったもので、これまで「食」「温泉・旅館」「新しい観光・ダム」をキーワードに、赤倉温泉地域の魅力について発信してきました。

今回は、赤倉温泉内の川の魅力を知らせてもらうことを目的に開催され、町内外から参加した16名の小学生に、川魚の観察・採取や素潜りなどを通して楽しんでもらうことができました。

7月30日(月)に「赤倉温泉まじやれ茶や」前の最上小国川で、赤倉温泉de遊ぼうプロジェクトによる夏の思い出作り「川遊びをしよう」が開催されスタッフとして参加してきました。



このプロジェクトは、2020年よ

困難な北村山管内の生徒を中心に18名が寮生活を送っています。しかし、なんといっても大事なのは学校生活の中心となる学習内容の充実や、希望する進路を達成するための授業の充実です。最上校では少人数の良さを活かし、一人ひとりの力を引き出す個別指導の充実を図り、「どの生徒も伸ばす、伸びる生徒はもっと伸ばす」をスローガンに先生、生徒一丸となって取り組んでいます。

さらに今年度からは地元最上中の生徒に、もっと最上校の魅力を理解していただくことをねらいとして「中学生との学校活動連携プロジェクト」も始まり、一学期には合同での職業体験プログラム「もがみ未来塾」を実施しました。最上校は町にとって欠かすことのできない大事な学校です。今後とも皆様のご支援をお願いいたします。